

重点的方針に対する意見のまとめ

資料 1

【資料 1 及び資料 2 共通】各意見欄に示した記号の意味について、

㊦…文法等へのご意見のため、意見書への掲載は行わず、別で修正等の対応させていただきます。

㊦…文法等へのご意見ですが、内容にも関連したものであるため、意見書への掲載を検討します。

重点的方針①

公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり

各委員からの個別意見

そして多様化する…の文章で、町民ニーズに対応するためにデジタル化の推進を図り…とありますが、「どの世代においても理解しやすいデジタル化の推進を図り」のような文言を入れてほしい。現在でもデジタル化に弱い高齢者もいらっしゃるのです。

重点的方針②

子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり

各委員からの個別意見

※現在意見なし

重点的方針③

気候変動に対応した安心・安全なまちづくり

各委員からの個別意見

重点的方針タイトルの「安心・安全な」という文言は、「持続可能な」の方が適切ではないか？ また安心安全は④の項目に適合的と考える

「脱炭素社会」や「循環型社会」という文言について、殊更特殊用語ではないため、鉤括弧は不要ではないか。

重点的方針は方向性として概ね妥当と思う。しかし、脱炭素社会を本当に実現するには、町の事務事業のみならず、あるいは緩やかな協働促進のみならず、産業、民生、運輸を含めた町域全体からの排出量を計画的にゼロにすることを、町がコミットし、リードするべきだと思う。

気候非常事態宣言が発出される見込みと伺い、素晴らしいことと思う。それに加えて、ぜひ2050年ゼロカーボンを目指すことを表明して頂きたい。多くの自治体がそうしている。

(<https://www.env.go.jp/policy/zerocarbon.html>)。その実現のため、町域全体の脱炭素実行計画を策定して取り組んでいく必要があると思う。

二宮町の排出量は他の自治体と比較しても近年順調に減っているの、達成をリードできる見込みは十分あると思う (<https://www.e-konzal.co.jp/e-co2/>)。

また、脱炭素社会や循環型社会を目指すことに関連して、大量生産・大量消費・大量廃棄から脱却した（不便になれということではなく、過剰消費を控えて足るを知る）ライフスタイルを町として何等かの形で推進することができたら望ましいと思う。二宮町の雰囲気には合っているように思う。

「気候変動に対応した安全・安心なまちづくり」にゲリラ豪雨などで頻発する河川災害、土砂崩壊災害などへの対応も検討しておくべきではないか。

重点的方針に対する意見のまとめ

重点的方針④

誰もが自分らしく暮らせるまちづくり

各委員からの個別意見

重点的方針タイトルを「誰もが自分らしく安心・安全に暮らせるまちづくり」に変更してはどうか。安心安全をどの要素に絡めて行くかは検討の余地あるかと思う。

重点的方針⑤

活力がみなぎり、選ばれるまちづくり

各委員からの個別意見

重点的方針タイトルの「活力がみなぎり」という文言は、「活力があふれる」の方が良いのではないか。

重点的方針⑥

新しい時代に向けて、しなやかに対応するまちづくり

各委員からの個別意見

「多様な主体との連携の強化」文章は、「多様な主体との連携強化」とした方が良い。

DXという単語は、単なる「情報化」とは異なるであろうことから、気を付けて使用したほうが良いように思う。

重点的方針に対する意見のまとめ

重点的方針	※共通事項
各委員からの個別意見	
<p>“AするとともにBします” 構文は「それらしく」見せる働きはあるが、全体としては読みにくくなるので、できるだけ避けて欲しい。“Aします。Bします。” は幼稚な印象につながりやすくはあるが、そこは適切な接続詞やよく練られた内容でカバーしてほしい。【重点・分野別共通】</p>	文
<p>主述関係を適切にし、文章の「ねじれ」をなくす必要がある。【重点・分野別共通】</p>	文
<p>「など」「等」の表記ゆれの統一が必要。個人的には「など」のほうが漢字からなる名詞の直後で使う場合にも読みやすく思われる。【重点・分野別共通】</p>	⊗
<p>重点的方針が各分野別方針のどこに当てはめてあるのかの記述があると紐づけされて理解しやすいのではないか。【重点・分野別共通】</p>	
<p>様々な分野において「ネットワーク」「パートナーシップ」「連携」などがキーワードになってくる。その中で、町⇄町民や関連団体の取り組みが混在していて不明瞭な印象があった。読み込まなくてもシンプルに理解しやすいよう、もっと明確に「二宮町としてどのような方向性を掲げるのか」「その中で町が取り組むこと」「町民や関連団体とどのような活動を連携していくのか」の表記があるとわかりやすくなお良いと思う。</p>	
<p>時代の変化が著しいこの時代に、中長期的な計画を立てたととしても状況に応じて計画の見直しが必要な場合も多々起こりうると思う。途中での振り返りや再検討の予定はないのか。また、柔軟性をもって進めることを明記してはいかがかと思った。【重点・分野別共通】</p>	
<p>全体に目を通して「町民のニーズ」というニュアンスに出くわすと、長寿の町を謳う二宮町としては「町民＝高齢者が多くを占める」印象がやはりあった。例えば13.の公園の整備で「高齢者が活用する体操遊具の充実した公園」のイメージ。町民の割合から考えると少ないのは確かだが「子どもの育ちの視点から必要な学び・体験のできる公園整備」もぜひ行って欲しいと思う。これは一例で、子育て支援など直接的に子どもに関わる分野以外でも、今後の町づくりを考えた時に子どもの育ちの視点や親の視点を意識して取り入れて欲しい。【重点・分野別共通】</p>	
<p>後述の分野別方針に具体策が掲載されているとはいえ、具体例がなくイメージしにくい文章がある。「二宮らしい教育」「学びや育ちの環境を整える」「未病に対する取り組み」等。 分かりやすい具体例を『○○○○等』として示す方法もあるのではないか。 例：「中高年者への定期健康診断受診の促進等、未病に対する取り組みを……」</p>	
<p>重点的方針、分野別方針ともに、SDGsと結び付けた、取り組みを示してみたいかがか。また、SDGsを座標軸に据えた検証を行うことも必要と思われる。更の方針内容は、急変する社会環境の変化に応じた柔軟な対応ができるように。なお、本計画が幅広い年齢層に伝えられる体制を整える必要を検討すべきである。</p>	